

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2022年4月21日発行 (No.24) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第6波、福祉の現場で何が起きていたのか！

コロナ第7波に備えて！緊急アンケート！

お寄せいただいた声をご紹介します！

現在、直面している状況・課題・問題点など…

●保健所業務のひっ迫により、2月から施設内の感染者やそれに伴う濃厚接触者の決定を施設が行うことになり難しさがあります。しかも濃厚接触者の待機期間などの対応の変更があり混乱をしました。

職員やその家族が感染したときの職員体制が取れず、超勤などで対応。市として感染拡大で保育所職員体制確保のため保護者に保育料返金を伴う登園自粛を依頼しましたが、蔓延防止等重点措置期間であるにもかかわらず職員体制が確保できたとして2月28日で登園自粛を解除してしまいました。まだ園内では感染者や検査する者もいる中で解除でした。担当課にも電話でおかしいのではないかと問い合わせしましたが変更はありませんでした。経済を回すとしてできる限り休園をせず対象者を絞った対応を国・自治体から言われました。「職員体制ひっ迫したら近隣や法人内でやりくりを」というのは到底無理です。日常的に保育士不足で職員確保もままならない状況です。

職員は体制の不安定と感染の不安の中、仕事をしています。(保育)

●コロナ感染が治まるまで職員には定期的にPCR検査を行ってほしい。(高齢)

国や自治体への要望…

●陽性者支援時などへの財政的、人的な資源提供。(複合)

●コロナ収束に向けて、医療体制や保健所の機能を強化してほしい。(障害)

●①高齢者施設で医療体制を整えて陽性者を療養させる方針が出されたが、施設内留め置きは、感染拡大のリスクかつ重症化のリスクが高くなるのは必至。軽症者であっても非感染者である高齢者のいない場所で、療養を行える状況を作ることが大前提。在宅高齢者も軽症でも急に状態悪化することがあり入院が大前提。その上で病床ひっ迫時に軽症者が施設内や自宅で療養する場合も、酸素吸入が必要・肺炎所見があるなどの場合はすぐに入院できるように、行政が病床の拡大とベッド調整を迅速かつ強力に行ってください。そうでなければ高齢者の死者は確実に増えます。

②かかり増し費用も感染発生時の費用も全額保障してほしい。補助金申請しているが支給される保障はないままに職員に手当は支給した。入院できずにやむを得ず施設療養した人が介護保険の利用者負担をするのも、感染が発生したからと施設に負うのも理不尽。医療は公費なのに、家族からもなぜ、と問われた。介護保険の枠組みではなく、公費で保障してほしい。

③在宅高齢者でかかりつけ医がコロナ疑いでは受診させてくれず大変困った。在宅高齢者や介護者がコロナ疑い時には訪問診療して投薬など初期治療できるよう、一般と同じではなく専用の相談窓口を作って、ワクチン案内などと同様に周知してほしい。ネットで診療機関一覧を設けても高齢者はアクセスできない。(複合)



←朝日放送キャスト

<https://www.youtube.com/watch?v=DW9k-54HPEU>

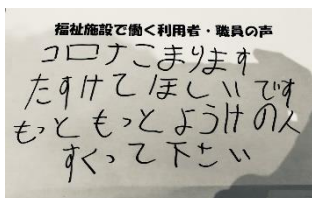
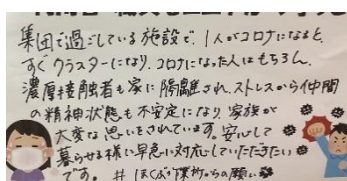
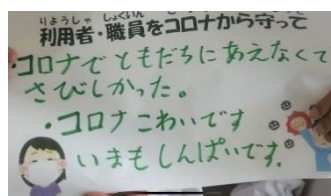
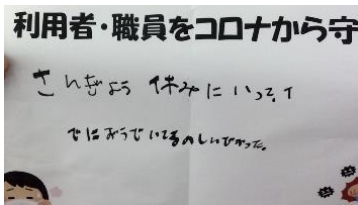
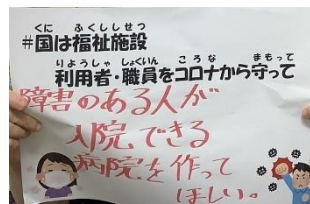
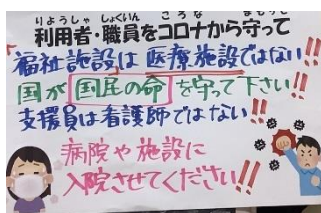
現在、直面している状況・課題・問題点など・・・

- 利用者、職員の陽性者が出た時点で事業所は一時的に受け入れを中止しなくてはならない状況の中で経営的には大きな打撃を受けるのは容易に予測できる。(ぎりぎりの収支を常に保っているため)又、人的な余裕は元々あるわけでもないため過酷な労働状況は予測がつき益々離職を心配してしまう。(複合)
- 子どものいる職員が、子どもが濃厚接触者になると出勤できず、職員が足りない状況になっている。(複合)
- 面会外出禁止の中入居者様が疲弊ストレス蓄積体力低下など懸念されます。(高齢)
- 職員のメンタル面は表面化しないが、何かをしなければいけないと検討中です。(保育)

国や自治体への要望・・・

- 自治体が責任をもって休園や学級閉鎖したときに登園可能な園児を受け入れる代替施設の設置を望みます。
感染拡大を防ぐための職員の定期的な検査を望みます。
何より職員確保ができるよう賃金や配置基準の改善を早急に望みます。
感染などの判断を施設にさせるのではなく保健所でできるよう改善を求めます。
保護者は休園でなければ登園させたいと思っています。多少体調不良でもこれぐらいは大丈夫だろうと連れてこられます。就労支援もありますが育児が非常につらく感じている保護者もおられます。虐待事例など親だから子を見るのは当たり前は通じない場合もあります。ハード面だけでなくソフト面の中長期的な保育・子育て・親育ての施策が必要と思います。(保育)
- 国に対しては、飲み薬の開発を早急にすすめて頂きたい。(保育)
- 社会的に必要な不可欠な事業であることを大前提に、まずは経営面の支援を行っていただき不安なく働ける環境を約束してほしい。(介護保険制度の中で自力で乗り越えるのは限界がある)(複合)
- 施設内で安心して行えるアクティビティやウェブ活用した研修など充実していただきたい。(高齢)

利用者・職員の声



朝日新聞・毎日新聞・朝日放送・読売テレビ・赤旗など各メディアが取り上げている

情報提供のお願い

報道機関から継続した取材の依頼があります。自治体への要請行動の予定、陽性者支援の写真・映像などを提供いただける場合は事務局までご連絡ください。

●コロナ第7波に備えて！第6波、福祉の現場で何が起きていたのか！緊急アンケート！

<https://forms.gle/4hRNCpgE3j3MUP38A>

